

# 地域資源循環の事例

## 地域におけるバイオマス資源の利活用

**バイオマスタウンとは？**

**定義**  
 域内において、広く地域の関係者の連携の下、バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれた総合的利活用システムが構築され、安定的かつ適正なバイオマス利活用が行われているか、あるいは今後行われることが見込まれる地域

市町村が中心となって、地域のバイオマス利活用の全体プラン「バイオマスタウン構想」を作成し、その実現に向けて取り組む。

**バイオマスタウン**  
 (平成22年で300市町村を目標)

農場 (農作物残さ、家畜排せつ物) → 変換施設 → 食品廃棄物、下水汚泥、電気、熱、プラスチック

森林 (たい肥、電気、林地残材) → 変換施設 → 電気、熱、プラスチック

変換施設 → 食品工場、レストラン、一般世帯、畜産農家、農業機械、建機、公共施設

- ・地域の関係者が協力した推進体制
- ・効率的な収集・輸送、変換、利用のシステム
- ・地域の多様なバイオマスを複合的に利用
- ・無理のない運営
- ・地域の需要に対応した利用

一部のバイオマスだけでなく、一部の人のみだけでなく、  
**地域みんなで、地域のバイオマス全体を効率的に利用！**

**バイオマスタウンの例**

<出典>農林水産省

**バイオマス等未活用エネルギー実証試験事業 研究設備設置場所**

(鶏糞・木質・都市ごみ他・雪氷)

アサヒビール(株) 伊江村

**モジュール式メタン発酵システムによる家畜排せつ物からのバイオガス回収・コージェネ利用実証試験事業**  
 (栃栗本鐵工所、北海道足寄群足寄町)

(株)タクマ 車本野市

<出典>独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

